

## 令和4年 築上町教育委員会（11月定例会）議事録

1. 日 時 令和4年11月21日（水） 午前9時30分開会
2. 場 所 築上町役場 本庁 議会委員会室
3. 出席委員 麥田 猛美 教育長職務代理者、折本 美佐子 委員、茅田 香 委員、  
小林 正尚 委員、久保 ひろみ 教育長
4. 欠席委員 なし
5. 傍聴者 1名
6. 事務局出席者 鍛冶 孝広 学校教育課長、尾座本 三雄 生涯学習課長、  
岡部 勇佑 学校教育係長、出口 厚志 学校管理係長、  
藤江 崇 学校整備係長、野村 仁資 スポーツ振興係長、  
宮内 智久 指導主事、榎 憲治 指導主事、  
毛利 克浩 地域活動指導員

午前9時30分開会

---

### 7. 会議内容

- (1) 開 会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 前回議事録の承認
- (4) 教育長報告  
報告1 教育長会議報告
- (5) 事務局報告  
報告4 令和4年度 通学自動車（スクールバス）追加乗車許可について  
報告5 生涯学習課報告  
報告6 指導主事報告

## (6) 協議事項

### ① 築上町立小中学校適正配置基本計画について

○学校教育課長（鍛治 孝広君） それでは、協議事項に移りたいと思います。協議事項の資料を御準備をいただきたいと思います。

データでお送りしている分と、本日はお手元に、「公立小学校、中学校の適正規模、適正配置等に関する手引」ということで2枚の資料をお配りしております。

協議事項としては、築上町立小中学校適正配置基本計画についてということで、本日御協議をいただきたいと思っております。

10月の教育委員会定例会議で、本基本計画については承認を頂いたところでございます。その後、10月21日にはコミュニティスクールの連絡協議会において、また、先週14日には、臨時議会がございましたが、その臨時議会の終了後に議員全員協議会において、議員の皆様の基本計画について説明、それから報告を行ったというところでございます。その中で、御質問、あるいは御意見を頂いたところでございますが、本日、その点について、教育委員会として考え方を整理させていただきたいということで御協議をお願いしたいと思っております。

内容としては、中学校の適正配置についてでございます。

基本計画では、配置基準として、本日、紙でお配りをしております文科省の「公立小学校・中学校の適正規模、適正配置等に関する手引」に、2ページ中段です、望ましい学級数の考え方ということで、上段の丸が小学校でございます。小学校については、1学年2学級以上、12学級以上であることが望ましいと。それから中学校については、9学級以上を確保することが望ましいということで、文科省の手引で示されているところでございますが、今後の築上町の生徒数の状況から申しますと、椎田中学校では、学年によっては3学級になる学年もございまして、概ね2学級、それから築城中学校では、生徒数からいけば、2学級にしかありません。また、令和14年度ぐらいには、各学年1学級になるというような状況でございます。

この状況について、基本計画の配置基準に合わないのではないか、また、教育委員会では、その辺についてどう整理をしているのか。また、中学校の統合ということについて、これまでどのような議論を行ったのかと、御意見を頂いたところでございます。

事務局としては、配置基準の基本的な考え方としては、先ほどの文科省の手引にございますように、全教科にバランスよく教員配置を行うことが可能となる1学年3学級、全学年合計で9学級という文科省の手引のもと、あくまでもそのことを基本としながら、また、将来的にはその基準に基づいて統合ということも視野に入れながらも、現時点では、築上町の中学校の現状を見ますと、すぐに配置基準に基づく措置、統合ということについては、生徒、あるいは保護者に受け

入れられないのではないかとこのように考えているところでございます。

理由としては幾つかございます。1つは、先にデータで資料をお配りしておりましたアンケート結果、築城中学校建設の際に実施したアンケートの結果、約8割の保護者が現在の2校体制維持を賛成していたという経緯がございます。その理由としては、学校内でいろんな問題が発生したときに、町内に中学校が2つあれば、もう1つの中学校に転校できるというメリット、この御意見が多かったように思っております。この点については、当時より現在のほうが、また、これから先を考えると、より大きなメリットになるのではないかとこのように考えております。

また、現在、町内に8校、小学校がございます。中学校が統合するとなると、その8校の小学校を卒業した児童は、統合した中学校に一斉に進学をするということになるということでございます。いわゆる問題視をされております中1ギャップ等の問題等を考慮しますと、事務局としては、まず小学校の統合、これをまず優先すべきだということで考えております。その後、状況を見ながら、生徒数の状況等を見ながら、また地域の状況を見ながら中学校統合と、順序立てて、今後、進めていくべきではないかとこのように考えているところでございます。

この中学校の統合について、教育委員さんの御意見も踏まえ、教育委員会として考え方を整理をさせていただきたいというふうに思っております。そういうことで、今日は協議事項として上げさせていただいております。

よろしくお願ひいたします。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 麥田でございます。多分、前にも言ったような気がするんですが、この資料のアンケート、アンケートの取り方に一つ問題があると思うんですよ。

何が問題かという、理由の中の2番目のところ、ここは当事者ですから、その頃、築城中学に居ましたので。築城中と城井中の統合時に生徒の落ち着きがなくなり、学校が荒れたと。2つ併せたために学校が荒れましたよと、そういう前書きでアンケートを取られても、非常に心外なんです、当事者としては。統合したから荒れたんじゃないと僕は思っていますから。現実、統合して2年目の夏までは落ち着いていたわけです。統合した年とその翌年の夏までは何もなかったんです。7月ぐらいから、ちょっと荒れだしたんですよね。それでだんだんエスカレートしていったという、そういうふうに思っていますので、統合を契機にして荒れたわけではないと私は思っています。統合が理由ではないと思っています。個人的な見解ですよ、もちろん。だから、これは私の思いを、このアンケートに書いた覚えがあるんですけど、それに対する意見を書いた覚えがあります。内容は前の、多分、教育委員会で決めた中身ですから、私は関わっていませんので何とも分からないんですけど、これが理由になり得るかなというのがあります。以上です。

○学校教育課長（**鍛治 孝広君**） 麥田委員からの御意見でございます。麥田委員、教育者としての立場で、その当時のことはいろいろ詳しく御存じだというふうに思いますが、資料の4ページ

を御覧ください。

一番最後に、主な意見ということで幾つか載せております。その中のポツの3つ目、保護者の御意見としては、そこに記載をしておりますように、城井中学校と築城中学校の統合時に学校が荒れた。また、荒れる原因をつくることは反対と。これは、保護者のそういう意見があったということで御理解いただければというふうに思います。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 統合時に荒れたということは、私が居た、その荒れた学年の子どもたちが入学してきた時点で荒れた、ということでしょう。それが理由ではないと私は思います。そんな理由で学校は荒れませんよ。これは、保護者がこう言ったからこれも理由に上げましたということで、それで良いんですか、本当に。

○教育長（**久保 ひろみ君**） 資料で出しているのは、過去の資料を載せているので、私どもが今、これを基にということではなくて、過去にこういうアンケートが行われておりましたということで見ていただいているので、ぜひそういう意見を言っていただければと思っております。

○教育委員（**麥田 猛美君**） 何回も言いますが、そういう事実はないです。統合した時点から荒れたわけではないからですね。だから、そういう捉えで、学校の統合を捉えて、例えば、2つの学校を子どもの人数を数えたときに纏めますよといった時の理由にしてほしくないなと思います。統合したことで学校が荒れだしたわけじゃないんですよ、全然。そんな事実はありませんので。認識の違いじゃなくて、そういう事実はないです。

○教育長（**久保 ひろみ君**） ありがとうございます。あくまで、これは、その当時の資料ということでの確認なので、これに対する意見ではなくて、この間、承認頂きました適正配置基本計画において、文科省の基準で望ましい学級数を提示しておりますが、単純に今、出生率から考えた時には、その数に至らないのではないかという指摘があって、それだけ減るのならば小中一貫校として、小学校の統合だけではなく中学校の統合も検討すべきではないかという意見を頂いたところでありますが、築城中学校が5年前に建て替わって、こういうアンケート結果も出ていますので、私どもとしては、椎田中学校、築城中学校の2校体制でという案で再編をしていこうという考えのもとに進んでおりましたが、ぜひ教育委員会でこの点を整理して、委員さんたちの御意見をお願いします。学校が荒れるとか荒れないとかそういうことではなくて、この2校体制の維持というところをどう考えるかという、委員さんたちの考えを一つにまとめていきたいなということで、今日はこの協議をさせていただいたところです。

それで、私が議員全員協議会の中で説明させていただいたのは、椎田中学校、築城中学校、人数が、基準よりも下回るかもしれないけれども、今それぞれの学校が特色ある教育活動を展開してくれています。本当にそれぞれ良さがあって、体育祭等、いろんな場面で頑張っています。それを人数が少なくなったからという理由だけで1つにするのは適当なのかと、本当に正しいのか

というところです。今、不登校の問題が非常に大きくて、なかなか一方の中学校に行けないけれども、隣の学校なら行けますとかいうような事案もあるので、2校を核に再編していったら良いのではないかという話をずっとしてきたと思うんです。ぜひ、教育委員さん方のお一人お一人のお気持ち、今、麥田委員がおっしゃられましたけれども、荒れるとか荒れないとかではなくて、将来的に築上町としてはどういう形の学校整備をしていくのが良いかということ、委員さん方の意見を聞きながら最終的に整理をさせていただきたいということでこの時間を取らせてもらっていますので、よろしくお願いします。

○教育委員（小林 正尚君） この資料は、アンケートの結果であって、その時、椎田中学校、築城中学校の2校体制を堅持するということが出ておりますので、当面、これを引き継ぐのが良いかなと思います。

理由は、今、小中一貫ということで小学校を纏めていこうと。オール椎田、オール築城で。そういう段階ですので、まずそれをやってみて、もしかしたらデータに出ている人口減少がこの特色ある教育で、それぞれの人数が増えていくかもしれない。そうすると、椎田中、築城中も少しづつ人数が増えて、国が出している基準のほうに近づいていくかもしれないし、そういう明るい期待を持って、まずは今やっている小学校を纏めていく、そのところに力を注いで、希望を持ちながら椎田中、築城中の未来、今のところは、現状を維持しつつ見ていくのが良いかなと思います。以上です。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） ありがとうございます。折本委員、お願いいたします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。私は、これから人口がどんどん減って行って、子どもの数も減ってきたら、将来的にはやはり1校というのものもあるかもしれないとは思っていますが、今の時点では2校あるほうが良いと思っています。少し小林委員と、話が一緒になるところもあるので、今後、小中一貫校を掲げておりますので、それぞれの2校ということで、できれば行政とも一緒に人口が増えるような努力もしつつ、それぞれの学校とか地域の特性を出していく、努力ですかね。放っておいても人口は増えないと思いますので、良い教育を提供できるように、学びの場を提供できるように教育委員会と行政が一緒になって、努力する方向で2校体制のほうが良いと私は思います。以上です。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） ありがとうございます。茅田委員、お願いいたします。

○教育委員（茅田 香君） 茅田です。このアンケートを取ったときは、私は保護者側のほうでアンケートをさせていただいたんですけど、椎田中学校と築城中学校が、合併というか、統合するというのを、保護者はどう思っているかというアンケートを見た時、びっくりというか、驚きのほうが大きくて、築城中と椎田中の合併とかいう話が出ているという、そのことが、保護者側も話題になっていまして。一応、合併はしないで、2校がそのまま、椎田中学校、築城

中学校が存続できるような形であったら良いなということで賛成をさせていただいたんですが。葛城小学校の様な少人数校は、やはり椎田中学校に上がるという、まずそこだけでも保護者は心配なところがあって、そのうえ築城中と椎田中が合併するという、大きな中学校になるということで、人数的にも心配なところがありますし、椎田中学校、築城中学校それぞれの良いところがありますので、それぞれ伝統を残していくような形で、私は2校を存続ということは賛成であります。そのまま小中一貫校が出来上がっておりますので、それで行くほうが良いと思います。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） ありがとうございます。麥田委員はよろしいですか。

○教育委員（麥田 猛美君） 1校体制でも2校体制にしても私はどっちでも良いと思っているんです。ただ、アンケートとかを取ったりする時に、客観的に意見が集約できるような設問をしないと、前回のようなことになるのではないかなと思っています。物すごく偏りがあると思っています。我々、当事者としては、これより良い話や、前向きに意見を言いましょうということには、多分、ならないと思います。その時に居た人たちからすると、物すごく苦労したんですよ、その事を考えるとね。何かたったこれだけで、こんな事があったから学校が荒れましたからねという理由だけで片づけられないものがあると思うんですよ。これから学校を造っていく中では、それは1校でも2校でも色んな声を聞かないといけないと思うから、当然ですけど。もし、もう1回アンケートを取るとすれば、十分練って、そういう何か不信感を持たれないようなふうにしなないと、教育委員会そのものに不信感を持たれてしまう。一応、教育者目線を出すアンケートでしたからね、これは。根強い不信感があるんです。こんな取り方でアンケートって良いのかなと、当時、思いました。だから、前向きにというのは、1校だから2校だからということではなくて、やはり子どもたちのためにどうするのが一番良いのか。そのために、もう1回また意見を聞かないといけないと思うから、その意見を取る時にはもう少し、アンケートに工夫をして、これからの学校づくりどうすれば良いのかというような事が分かるようなアンケートにしなないと、荒れましたからねという前置きがあって、アンケート書いてください、では、荒れないほうが良いじゃないですか、合併しないほうが良いじゃないですか。そういうふうなことをやはり僕は思っています。だから、アンケートは難しいなと思っています。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） ありがとうございます。

御意見お聞きする限りでは、麥田委員は、特段、今の2校の体制ではなくても良いという御意見ですね。統合しても良いかなということですね。あと、残りのお三方については、やはり今の2校の体制で、それぞれの学校の良さをそれぞれの学校で伸ばしていく。それから築上町のこれから取り組む小中一貫教育、これをそれぞれの中学校区で充実させていく方向でということですね。また、2校あるメリットというのも、十分、これから考えられるということでございますよね。一応、今日、そういうことで御意見を頂きましたので、事務局で整理をさせていただきた

いというふうに思っております。

では、協議事項についてはこれで終了させていただきます。

報告2 指定校変更について【非公開】

報告3 区域外就学について【非公開】

(7) 連絡事項

(8) その他

(9) 閉 会

午前10時40分閉会

---